

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		スーパー（店長）	・3月頃から新しく挑戦している売出しが浸透しつつあるので、このままいけば、やや良くなる。
		コンビニ（経営者）	・戦争後に重機が売れ始めた関係から、周辺の大手建設機械メーカーで従業員の動きがあり、当店への来客数が増加している。近隣のコンビニ2店舗が閉鎖したこともあり、多少上向く。
		コンビニ（店長）	・4月下旬に統一地方選挙がある関係で、来客数、売上ともに減少している。3か月後は選挙がないので、いくらか回復する。
		乗用車販売店（営業担当）	・商品のモデルチェンジとボーナスの時期が重なり、販売量の増加を見込める。
		その他専門店〔携帯電話〕（従業員）	・4月に入ってからは、進学、就職シーズンの勢いはなくなり、販売数が急激に減少している。携帯電話の新商品の発売が5月以降に予定されているので、今は買い控えている客も多いが、発売後はやや良くなる。
	通信会社（社員）	・第三世代携帯電話については、新機種投入以来、販売は好調で、在庫不足の状態が続いている。	
	変わらない	一般小売店〔金物〕（経営者）	・名刹のご開帳が終わり、反動で、金物などの消費も若干減少する。消費の伸びる時期ではあるので、相殺すると変わらない。
		百貨店（売場主任）	・3月に全店リニューアルをしたので、今後は効果が出てくる。
		スーパー（経営者）	・TV報道などの影響から景気の不透明さは一段と深刻化し、必需品以外の購入は、一層厳しくなっている。
		スーパー（統括）	・消費者の生活防衛意識は高く、それを抑えるだけの、経済環境に変化をもたらす与件は見当たらない。県内の基幹産業であるIT関連が復調の兆しを見せているが、まだ当面は横ばいである。
		スーパー（販売担当）	・来客数は前年並みであるが、客単価、売上が前年の90～95%であるという状況がこの数か月続いており、今後も大きく変わる要素がない。
		コンビニ（経営者）	・新しいスーパーが2店出店しており、営業時間が非常に長いので影響を受ける。とくに良くなる兆しは何もない。
		コンビニ（経営者）	・来客数が多少増加しても、客単価が低下するので、変わらない。
		衣料品専門店（店長）	・ボーナスシーズンであるが、これとって夏のヒット商品がなく、消費はあまり盛り上がらない。
		家電量販店（店長）	・売上は下降気味で変わらない。何かが売れているというような話題があれば、少しは活力になるが、良い話題も少ない。地上波デジタルがどうなるかが、業界の大きな関心事である。
		乗用車販売店（経営者）	・先行きの不透明さに歯止めがかからない。新型車の登場により、市場に若干活気が出るが、長続きはしない。
		乗用車販売店（販売担当）	・イベントを毎週開催しているが、来客数は減少し続けている。来店した客も小さな車しか見ず、高価な大型車は全く見えていない。
		高級レストラン（店長）	・継続的な景気回復の要因が何もなく、消費者心理は冷え切っている。個店の努力で低水準ながら現状を維持しているが、根本的な解決にはなっていない。
		旅行代理店（従業員）	・夏休みの家族旅行に期待しているが、前年同様、単価の安いツアーに人気が集まりそうなので、売上はあまり期待できない。
ゴルフ場（支配人）		・選挙も終わり、新緑の季節を迎え、ゴルファーもストレスを振り払うようにプレーをしている。今後は小グループが動き出すことを期待している。	
ゴルフ場（副支配人）	・2、3か月後の予約の引き合いがあり、入場者数は増加するが、単価が下がっている。競合の料金も随分値引きされていることから、総じて変わらない。		
競輪場（職員）	・ボーナスシーズンとなるが、今年はボーナスは出ない会社もあるという話なので、変わらない。		
その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）	・整備、入庫は若干増加したが、客の財布のひもが固く、比例した売上は見込めない状況である。		

	やや悪くなる	商店街（代表者）	・近隣の大きな建設会社がまた倒産した。下請け業者や関係者が近くに大勢いるので、とても景気が良くなるとは思えない。
	商店街（代表者）	・オープンしたばかりのショッピングセンターとアウトレットモールの影響が出てくる。商圈人口は限られており、景気も良いとは言えないので、客は買回り品、最寄品を含めて、新しい商業施設に向かう。	
	スーパー（店長）	・発泡酒、ワインなどの酒税増税、たばこの値上げが控えており、周囲の競合店の状況から考えても、景気が上向く要因はない。価格を下げて客の購買意欲をかきたてる作戦をとっている。	
	スーパー（経営企画担当）	・5月中旬にディスカウントの大型スーパーが近くに出店する予定で、影響を受ける。	
	コンビニ（経営者）	・商圈内に強力な競合店が出店するため、従業員の接客、発注等の管理レベルアップの見直しが必要となる。着実に利益の出せる体質にしておく必要がある。	
	乗用車販売店（販売担当）	・分社化で各都道府県の独立採算となったが、今後は親会社からの宣伝等のフォローは期待できず、自社で宣伝をして売っていかないといけなくなるので、厳しい。	
	住関連専門店（店長）	・4月からの健康保険料の負担増加、5月からの酒税法改正による酒単価の上昇により、個人の負担が増えているので、やや悪くなる。	
	スナック（経営者）	・予約の動きが低調で、あまり期待できない。季節的にも落ちる時期である。	
	旅行代理店（経営者）	・SARSの影響が長引きそうなので、引き続き東南アジア方面の旅行の取消しや延期があり、景気はやや悪くなる。	
	旅行代理店（経営者）	・SARSの問題は中国に限らず、世界に飛び火している。日本だけが水際で止められるとは思えず、いずれ国内で発病者や死亡者が出る。中国の北京で起きているようなパニック状態がもし起きたらと、先行きを懸念している。	
	旅行代理店（従業員）	・SARSの影響が、世界各国で出てきているため、今後の取り消しが予想される。	
	旅行代理店（営業・管理担当）	・中国のSARSの終息がどこまで先かわからないので、やや悪くなる。	
	タクシー運転手	・4月は歓迎会等で一時的に売上が伸びたが、5月以降は連休でお金を使ってしまい、客が飲み会等を控えるので、厳しい。	
	タクシー運転手	・ハローワークの駐車場はいつ通っても列ができています。大手建設会社の倒産があり、さらに失業者が増加するので、やや悪くなる。	
住宅販売会社（経営者）	・産業が少なく、建築、土木に携わる人の比率が多い地域なので、公共事業の削減による影響で、倒産が増加している。景気は回復どころではなく、下降線をたどる。		
悪くなる	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・イラク戦争が終わって、世の中がどうなるのかわからないし、SARSが日本にも襲ってくるかもしれない。悪い方向に進んでいくのではないかと。すべての面で明るい材料がなく、景気は低迷する。	
	百貨店（販売促進担当）	・5月はGWの海外旅行が減少した影響で、一時的に国内の消費が高まる可能性がある。2、3か月先は、中国の生産減少など、多方面にSARSの影響が出て、一層、消費が冷え込む。	
	衣料品専門店（販売担当）	・選挙が終わってからもゴールデンウィーク用の購買はなかった。今後は4、5キロと10キロ離れた近所に、相次いで大型店がオープンするので、大きく影響を受ける。商店街の来客数は激減し、売上も減少して、悪くなる。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・会合、宴会、宿泊、各レストラン、すべてが悪くなっている。ボーナスも出なくなったので、今後は非常に大変である。	
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・モデルチェンジして新車両が5月に発売予定で、フル操業の状態が続く。7月頃までは、売上が20%伸びると見込んでおり、良くなる。
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車関連の部品は、先月に引き続き、高水準で横ばいであるが、建設機械関係部品は、徐々に増加傾向にあり、今後はやや良くなる。
	電気機械器具製造業（経営者）	・今は耐え忍ぶ時で、リストラをしている。今後は、公共事業が少しは出てくるので、やや良くなる。	

変わらない	化学工業（総務担当）	・新しい期が始まり、ユーザーから今期の発注予想が出てきたが、大幅な増加傾向にはない。逆に、価格の見直しを求められるものもあり、先行きは厳しい。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・平成15年度の国の予算、県、地方ともに前年度と変わらない。良くなる状況は1つもない。
	一般機械器具製造業（生産管理担当）	・新しい期に入り、多くの会社で生産計画説明会が開催されているが、取引先の自動車、建機関連で、悲観的な予測を立てている会社は、ほとんどない。2～3か月先は、現状のまま推移する。
	精密機械器具製造業（経営者）	・中国のSARSの影響もあり、各企業先行き不透明である。
	輸送業（営業担当）	・前年並みの貨物量は確保しているが、コスト削減で、荷主から料金値下げの要請が出ている。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・今までもご開帳後の参拝客は、極端に減っていることから、今後の反動が心配である。 ・民事再生法を申請したゼネコン関係者によると、土木、建築の仕事は皆無に近いということであり、設計会社の中には、リフォームのコンサル事業を始めたところもある。
	経営コンサルタント	・新しい引き合いや商談案件等はあるものの、見極めが必要である。
やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・1～4月は、設備投資関連の仕事が動いたが、4月以降、全然動きがみられないので、今後はやや悪くなる。
	金融業（融資担当）	・取引先のビル管理会社では、夏頃までに、入居しているテナントが軒並み撤退したり、事務所の面積を半分にしたりするということで、賃料収入が減少する。個人客は、ボーナス時に引かれる健康保険料の増加で可処分所得が減少し、購買力が落ちる。
	広告代理店（営業担当）	・大手支店の広告は、本社が一括して作成する傾向が強くなっており、地場企業の広告出稿の減少をカバーしきれない。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・外部環境に不安要素が多く、設備投資を控える客が多い。今後数か月は、このまま推移する。
	その他サービス業〔放送〕（営業担当）	・企業が広告の効果を上げるため、コマースの多様化を進めており、期間が短く、小口化している。新規のスポットコマースが出てきているが、撮影経費等がかさみ、相対的に受注、利益とも減少傾向にある。
悪くなる	食料品製造業（営業統括）	・イラク戦争をはじめ、SARS問題、株価の低迷、5月からの酒税増税など、どれをとっても先の明るい話題はなく、ますます消費者の購買意欲は低下する。
	一般機械器具製造業（経理担当）	・大企業はほとんど海外生産に移行しているので、悪くなる。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・5月に関西で国際宝飾展があるが、SARSの影響で、顧客から香港、シンガポールからの出展者が来るなら行かないといった反応が出始めている。海外に行かない分、ブランド商品の販売は堅調に推移するが、一般的には厳しい。
	建設業（総務担当）	・受注が大幅に減少しており、次年度の売上も大幅減の見込みである。今後も、支出を見直し、できるところから実施していく。
雇用関連	良くなる	-
	やや良くなる	職業安定所（職員）
変わらない	人材派遣会社（経営者）	・仕事量は安定しないが、3か月前よりやや多くなっている。
	人材派遣会社（経営者）	・IT関連の派遣需要は、依然として活発である。他の業界は、リストラが進んだのか、全く動きがない。例年、春から夏にかけて、イベントなどの単発的な業務の需要があるが、今年は動きがない。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・中国におけるSARSの問題、イラク戦争の戦後処理もあり、まだ不透明感がある。
	職業安定所（職員）	・菓子製造、医療器具製造、スピーカ開発製造、計量器具製造など、今後もある程度まとまった企業整備が予定されている。

	民間職業紹介機関（経営者）	・一部に黒字基調がさらに上昇中の企業もみられるので、期待したい。業種内での自然淘汰が、猛烈な勢いで進んでおり、とくに建設業では会社更生法の申請企業が目立つ状況である。中国進出している製造業では、SARSの影響でマスクを買いに走り回っている。人の動きが急速に鈍化しているため、影響が心配である。
やや悪くなる	学校 [短期大学]（就職担当）	・4月に開催する地元新聞社主催の、16年3月卒業予定者対象の就職面接会は、参加企業が38社で、参加企業、求人数ともに前年比70%程度である。求人内容も、設計、情報処理など専門的な技術を要する職種が多く、事務、販売職などは約半分である。
悪くなる	人材派遣会社（社員）	・前年10月にも1件話があったが、大口の取引先から取引環境が悪化したので、取引を停止したいという話が出ている。今後も、同様の話が出てくることが見込まれる。